

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R3	尼崎総合医療センター	<p>今年はコロナの影響で病院での実習は短くなってしまいましたが、6週間本当に丁寧にご指導いただき、とても充実した実習を送ることが出来ました。実習期間には、実際に病棟に上がり、患者さんへの服薬指導をさせてもらいました。薬局実習では患者さんとの会話と検査値、お薬手帳からしか患者情報を把握することはできませんでしたが、病院実習では患者カルテを用いて、入院までの経緯や健康状態、医師の診断内容や処方意図を確認することができ、より深く治療に介入することが出来ました。また処方内容に関して直接医師と相談をしたり、処方提案を行っており、薬剤師の存在意義をより強く感じる事が出来ました。この病院実習で学んだことを忘れず今後の学生生活や臨床に出た時に活かしたいと思います。本当に長い間ご指導いただきありがとうございました。</p>
R3	尼崎総合医療センター	<p>緊急事態宣言発令により、病院での実習期間は短くなってしまいましたが、調剤、病棟業務、チーム医療など色々な事を学ばせていただきました。実際に現場に出てみて、服薬指導で思うようにできなかつたり、自分の知識不足を痛感しました。薬剤師の先生方はどのように業務を行っているのか、患者さんと接しておられるのかを見ることができて、貴重な経験となりました。特に小児患者さんではアドヒアランスのために服薬拒否がないかの確認、拒否があれば薬を飲みやすくするための提案がとても大切だと感じました。先生方の丁寧なご指導ありがとうございました。</p>
R3	尼崎総合医療センター	<p>病棟で学んだことは、副作用の特徴、検査値を説明し、もし副作用があれば早急に対応できる薬剤師の方々ばかりで感銘を受けました。学校では習わなかった治療の流れ、ガイドライン、手術の詳しい内容についてを学ぶことができ、新しい知識を増やすことができました。この病院実習を通して、患者一人一人の変化にきづける薬剤師や、どんなに忙しくても余裕を持って冷静に対処できる薬剤師、薬の専門性を高め、他の医療従事者に頼られる薬剤師、自己研鑽を怠らない薬剤師に出会うことができ、自分もそのような薬剤師になりたいと思いました。</p>
R3	尼崎総合医療センター	<p>最初の1か月がオンラインで始まり、対面での実習が始まった当初は不安でいっぱいでした。案の定、病院では高度で幅広い知識が求められ常に学びのある日々を送っていました。また、薬局実習では処方箋枚数が少なかったこともあり病院の処方箋枚数の多さに驚きました。そんな中でも、忙しい合間を縫って丁寧に教えてくださる薬剤師さんのおかげで実習前の自分とは比べ物にならない程の知識を身に付けることができました。実習を通して、病院で働くイメージや今の自分に足りないものを知ることができたことはとても貴重な経験になりました。この実習の経験を活かし、今後の就職先の選択に役立てていきたいです。</p>

R3	尼崎総合医療センター	緊急事態宣言により病院内で実習を行えたのは半分の期間でしたが、私たちが偏りなく実習できるよう先生方が調節して下さったおかげで様々なことを学ぶことが出来ました。限られた時間ではありましたが実際に病棟へ行って患者さんと触れ合うことの難しさや患者さんが薬剤師に求めていることなど講義だけでは学びきれないことを体験しました。初めは患者さんから思いがけないような質問がきて戸惑うようなことも多くありました。患者さんとコミュニケーションを繰り返し取ることで患者さんから求められる答えを予想し用意して対応する事が出来たことが、自信となりました。この実習で培ったことを将来に活かして行きたいと思います。薬剤部の先生方、お忙しい中ご指導ありがとうございました。
R3	尼崎総合医療センター	今年は新型コロナウイルスの影響で、最初の1か月がZOOMでした。病院実習で感じたことは、薬の知識量がすごい方が重宝されるということです。もちろん、コミュニケーション力は必要ですが、働き始めたらだれでも身につくと思います。そこで感じたのは、専門家としての役割をきちんと担う薬の知識量の重要性です。社会に出ると、自分で勉強することでしか、自分を成長させることができません。知識の多い薬剤師さんは、他の薬剤師さんから頼られていたり、他の医療従事者から薬のことを質問されているところをよく見かけました。将来、どのような薬剤師になりたいか、もう一度考え、学生のうちに何に取り組むべきかを考えていこうと思いました。
R3	尼崎総合医療センター	コロナ禍で大変な中、前半のオンライン実習で工夫をこらしたお話をしてくださり、また対面実習が始まってからはできる限り臨床ならではの経験ができるように気を配って下さるなどご配慮いただき、ありがとうございました。地域の医療を担う公立の総合病院で、調剤・製剤、服薬指導、チーム医療など様々な事に関わらせて頂いた11週間は、大変貴重な経験となりました。想像以上の忙しさの中、大人数で協働し、複雑な業務を正確に行うため、随所に凝らされた工夫や、そこからさらに改善が加えられていく様子を見聞きし、たくさんのお話を学ばせていただきました。先生方にフォローしていただきながら薬剤師業務に関わる度に、明らかな勉強不足を痛感することだらけでしたが、薬剤師という専門職の魅力を感じることが出来る日々でもありました。薬剤部の先生方、病院のスタッフのみなさんから温かいご支援・ご指導を賜りましたことを深く感謝いたします。
R3	尼崎総合医療センター	最初の1か月はZOOMでの実習となり、現場での実務実習は短くなってしまいましたが、その中でも病棟業務やチーム医療、抗がん剤のミキシングなど病院薬剤師ならではの業務を経験させていただきました。病棟では実際に患者さんと関わることができ、指導の仕方や言葉の選び方など、薬局とは違った患者さんへの対応を薬剤師の先生方の姿をみて学ばせていただきました。また、病棟での薬剤師の役割や業務についてどのようなことを行っているのか想像でしかありませんでしたが、実際に経験させていただきあらためて病院薬剤師の業務や薬局薬剤師との違いを再認識することができました。実習で得た経験、知識を基に勉強に励み、目指す薬剤師像に少しでも近づけるように頑張っていきたいと思います。お忙しい中、丁寧にご指導いただき本当にありがとうございました。

R3	尼崎総合医療センター	緊急事態宣言の発令で初めの一か月は遠隔実習となりました。遠隔実習ではZOOMの中でいくつかの課題が与えられ、実習生間で考えるという機会もありました。また、遠隔の一か月間で対面の形で行う予定だった講義などを終わらせたため、対面で実習が始まってからの一か月は病棟活動や調剤業務に集中することができました。病棟では、短い間でしたが、様々な入院患者さんと接することが出来て大変貴重な経験が出来ました。DDSTやNST、緩和ケアチームのラウンドに参加して、薬剤師が医療チームの一員として活躍している姿を間近で見ることができ、病院薬剤師ならではの業務についてより理解を深められたと思います。このような状況下で、先生方には実習中は大変ご迷惑をおかけしましたが親切丁寧に指導していただきありがとうございます。この病院実習で得たことを、今後に生かして頑張っていきたいと思います。二か月半本当にありがとうございました。
R3	尼崎総合医療センター	高度急性期病院のため、様々な症例の患者さんの処方を見る機会があり、とても勉強になりました。私が主に行かせていただいた病棟は頭頸部癌の患者さんが多く、抗がん剤治療、放射線治療の現場を間近で見ることができ、処方提案などの介入もさせて頂きました。また、NSTやDDST、緩和ケアのラウンドにも同行させて頂き、最先端の医療の現場を経験させて頂きました。その他にも錠剤の調剤はもちろんのこと、注射薬の調剤や、TPN製剤の調製、抗がん剤の調製など幅広く経験できました。ありがとうございました。
R3	尼崎総合医療センター	11週間という長い実習期間でしたが毎日学ぶことが多くあっという間の実習期間でした。最初は分からないことも多く先生方には迷惑ばかりかけたと思います。ですが、先生方に色々な事を教えて頂き充実した毎日でした。調剤や注射はもちろん病棟では苦手としていた服薬指導の方法を学ばせて頂き自信を付ける事が出来ました。また、NSTや緩和ケア、せん妄のチーム医療では実際のラウンドを見学させて頂き大変良い経験になったとともに現場の空気を感じる事が出来ました。病院実習で学んだことを将来活かすことが出来るように、また、今回実習を行って知識不足と感じたところを無くすように勉強に励んでいこうと思いました。
R3	尼崎総合医療センター	病棟、調剤、無菌調製、ラウンド、講義と目まぐるしいほど充実した11週間でした。地域基幹病院なので8大疾患から難病まで様々な病態の患者さんがいて、治療に用いられる薬物も多種多様で、毎日が新しいことの連続で新鮮でした。何より、高度な設備が揃った環境で実習ができたことはとても幸運だったと思います。自主性を尊重していただける環境であるため、服薬指導や疑義照会、処方提案、情報提供など、患者さんや他職種の方と関わる業務も沢山経験させて頂きました。先生方にはお忙しい中、基本的な質問にも温かくご指導いただき本当に感謝しています。

R3	尼崎総合医療センター	自身の知識不足に不安を感じながら病院実習が始まりました。しかし、基本的なことも全く分からない中、薬剤師の先生方はお忙しいにも関わらず、懇切丁寧に指導して下さる方ばかりでしたので、非常に感謝しております。また、実際にドクターへ疑義照会を行うことは今回初めての体験でしたので、非常緊張しましたが、実習生に対しても先生方はご丁寧に対応して下さり、日頃から病院内での良い関係性があるのだと分かりました。百聞は一見に如かずと言う通り、病棟における服薬指導やTPNの調製、抗がん剤のミキシング等、座学における知識たちが血肉となり、自身が成長していく事が感じられ、病院薬剤師の面白みを感じました。見て学ぶ、実行するということを繰り返し、薬剤師の先生方のお姿をまねるうちに、自身の理想の薬剤師像が見えてきたような気がします。コロナ禍にて臨床現場における実務実習を受け入れてくださったこと、日々ご指導頂いたことに改めて御礼申し上げます。
R3	尼崎総合医療センター	11週間の実習でたくさんのお話を学ばせて頂きました。薬剤部での調剤業務はもちろん、複数の病棟で実習を行うことが出来たため、病棟ごとの指導上の違いや特徴を知ることができ大変貴重な体験をさせて頂きました。また、服薬指導をとおして疾患や治療薬についてより深い理解につながりました。その他に、病院では医師はもちろん看護師さんや栄養士さんとも連携して患者さんの入院生活を支えていることを知ることができました。これらの経験を将来に活かしていきたいと思えます。お忙しい中御指導いただきありがとうございます。
R3	尼崎総合医療センター	最初は、どういう動き方をすればいいかもわからず、あたふたしていましたが、先生が優しくお声掛けして下さい、とても丁寧に指導して下さいととても勉強になり、自身のスキルアップへとつながりました。お忙しい中、いろんな経験をさせて頂いたこと、光栄に思います。今後は、尼崎総合医療センターの薬剤師さんのような知識量、患者対応力、臨機応変能力に近づけるように日々精進して参りたいと思えます。
R3	尼崎総合医療センター	病院薬剤師さんの仕事内容を詳しく知るこの良い機会に毎日様々な事を教えて頂きました。実務実習はすごく充実しており一日が一瞬で過ぎ去っていく日々でありました。医療の現場を知ることで自身の知識不足を痛感するとともに向上心が高まり、薬物療法についてもっと多くの事を学びたいと思えました。指導薬剤師さんの手厚いご指導の下、患者さんとも関わることが出来自分には何が出来るのか、足りていない部分、もっと伸ばしていくべき部分について考えることが出来本当に良い経験になりました。多くの知識を用いて患者さんに真剣に向き合う姿に、将来の薬剤師像であると感じました。実務実習で得た知識を活かしさらに自己研鑽に勤め、病院薬剤師を目指します。先生方には大変お世話になり本当にありがとうございました。

R3	尼崎総合医療センター	将来病院薬剤師になりたいと思いながら、具体的にどのような仕事をしているのか分かっていませんでした。実際に実習が始まって、薬剤部での調剤はもちろんのこと、病棟で患者さんに指導したり医師や看護師に相談したり、抗がん剤のミキシングやTPN輸液の調整、ASTカンファや緩和ケアラウンドなどのチーム医療にも参加することができて、たくさんの貴重な経験をさせて頂きました。病院薬剤師とはどのようなものなのかを肌で感じることができて、充実した実習生活を送らせて頂きました。はじめは、分からないことが多く、ご迷惑ばかりおかけしましたが、お忙しい中でも一つ一つ丁寧にご指導頂き、また優しい言葉をかけてくださったこと、本当に感謝しております。11週間は長いようであつという間でした。尼崎総合医療センターでは、将来こういう風になりたいと思う先生方に出会うことができました。この実習で学んだこと、経験したことを活かして、目標とする薬剤師像に近づけるよう一步一步努力して参ります。
R3	尼崎総合医療センター	実習前は、11週間がすごく長く感じていましたが、始まってみると充実した毎日であつという間の実習期間でした。薬剤部での調剤をはじめ、病棟業務、製剤、抗がん剤のミキシング、チーム医療の参加等病院でしか体験できないような貴重な経験をさせて頂きました。病院実習を通して、何よりも薬剤師の先生方の知識量の多さに驚きました。多くの知識を自分のものにするには、違いを覚えることや実際に自分で経験することが大切であるとの実習を通して学ぶことができました。様々な業務中にも関わらず、わからないことを質問した際には、時間を割いてでも丁寧に教えて頂きました。病院実習では、多くのことを学ぶことができました。この学びを今後活かしていきたいと思えます。コロナもあり大変な状況の中、実習させて頂きありがとうございました。
R3	尼崎総合医療センター	大きな病院で自分がどんな事ができるのか、はじめは少し不安でした。しかし、先生方がとても親切に教えてくれて、毎日新しく吸収する事ばかりでした。病院実習を経験する事によって、将来医療従事者として働く事への自覚が得られたと思えます。病院薬剤師が患者さんや他の職種の方と関わっている姿を間近で見て、薬剤師の病院での役割を学ぶ事ができました。病棟に上がって患者さんに実際に指導を行う機会もあり、自分が学んだ知識を患者さんに伝える事がとても難しい事も学びました。大学では学ぶ事ができない事ばかりで、とても貴重な体験になりました。
R3	尼崎総合医療センター	11週間、お忙しい中ご指導いただきありがとうございました。調剤や病棟業務、講義に加え、施設見学やAST・緩和ケア・NST・DDSTなどのチーム医療への参加など様々なことを経験させて頂きました。特にチーム医療では、多職種の医療従事者がいる中で薬剤師ができることは何なのか、について考えさせられました。この実習を通して病院薬剤師の実際の仕事内容について詳しく知れて、自分の進路について考えるきっかけにもなりました。実習中は不慣れな事も多く、先生方にご迷惑をお掛けすることもありましたが、優しく丁寧に、時には厳しく指導いただいたおかげで、次第に業務にも慣れていき、最後まで実習を行うことができました。ここで学んだ事は薬剤師になっても忘れないと思えます。貴重な経験をありがとうございました。

R3	尼崎総合医療センター	病院でしかみれない疾患の患者さんをみることができ、指導にも行かせてもらえて勉強になりました。病棟薬剤師の業務を間近でみることができ、とてもいい経験ができました。また注射薬の調剤やTPNの調製、抗がん剤のミキシングなど薬局では経験できないこともできてよかったです。さまざまなことを病院薬剤師さんから学ぶことが出来たと思います。この病院で経験したことを薬剤師になっても活かしたいと思いました。ご指導ありがとうございました。
R3	尼崎総合医療センター	疑問に思ったことをすぐお聞きできる環境にいらされたので毎日とても勉強になりました。ICT、NST、緩和ケア、DDSTのチーム医療にも参加させていただき、様々な医療スタッフの考えや意見交換の場を目の前で見学でき貴重な経験ができました。お忙しい中ご指導いただきありがとうございました。
R3	尼崎総合医療センター	病院ならではの経験をさせて頂き、ありがとうございました。病棟にも何度も行かせていただいて様々な症例を見ることができました。薬局では中々抗がん剤を使っている人を見なかったので抗がん剤の副作用の確認や薬の説明など体験することができてよかったです。
R3	西宮病院	実習では、大学では体験できない経験を沢山させていただきました。調剤では、ただ調剤するだけではなく、電子カルテを利用し、患者さんの背景を意識して調剤することが大事だと学びました。また、実際に、薬を見る事により、今まで学んだ知識が、より定着しました。しかし、圧倒的に自分の知識が足りないことを自覚し、もっと知識をつける必要があると感じました。服薬指導では、患者さんに説明することに精一杯になってしまい、話が一方通行になってしまい、コミュニケーションを上手く取れませんでした。患者さんに話をしてもらうことの重要性が実感できました。今回の実習で学んだことを、今後の勉強や、将来的に薬剤師になった際に、活かしていきたいと思います。11週間という長い期間でしたが毎日が充実しており、あっというまでした。忙しいなか、ご指導ありがとうございました。
R3	西宮病院	薬局実習とは違い、今までに見たことのない症例・医薬品がたくさんあり、日々新しい発見だらけの11週間でした。調剤から服薬指導まで幅広く経験をさせていただき、病院で働く薬剤師の業務内容や役割、求められることを身をもって学ぶことが出来ました。限られた中ではありますが、病院実習で学びたいと思っていた多職種との連携も、講義やカンファレンスへの参加などから学ぶことが出来ました。私が実習で1番心に残っているのが、自分が服薬指導を行う前に、薬剤師の方の服薬指導を見学した時のことです。薬剤師の方の患者さんに寄り添った服薬指導を見て、私も薬のことだけでなく、なんでも相談してもらえるような、患者さんに信頼してもらえる薬剤師を目指したいと思いました。実習を通して、処方薬から患者さんについて考えたり、服薬指導でどんなことに注意すべきか考えたりして、今までより確実に薬だけでなく、患者さんを理解しようとする姿勢が身に付いたと思います。これからもその姿勢を忘れずに努力していきたいです。11週間、お忙しい中ご指導いただき、たくさんの経験をさせていただいて本当にありがとうございました。

R3	西宮病院	<p>病院実習では、調剤をはじめ、輸液や抗がん剤、他の医療従事者との関わりなど様々なことを学ぶことができました。服薬指導では、カルテから患者背景や検査値などを読み取り、患者さん1人1人にあった服薬指導を行うことの重要性を実感しました。抗がん剤の指導では、患者さんを不安にさせない言葉の選択や副作用の評価、患者さんのためにできることを考え、実際に服薬指導を行うことができました。また、コロナの影響で、各種教室・ラウンドに参加させて頂くことはできませんでしたが、講義という形で実際に薬剤師がどういうことを行っているのかを教えて頂き、病院薬剤師としての業務内容を理解することができました。病院実習を通して、幅広い知識とコミュニケーション能力が、患者さんが前向きに薬物治療を行うために必要だと実感しました。病院実習での経験、反省点を将来、薬剤師になった時に活かせるようにしたいです。ご迷惑をおかけしたこともあったと思いますが、11週間お忙しい中、ご指導頂きありがとうございます。</p>
R3	西宮病院	<p>兵庫県立西宮病院では朝や昼に調剤過誤防止チェックシートを音読したり、処方箋上で規格や剤形の違いを記号で区別していたりと医療安全のために工夫されていました。また、薬剤管理指導では、カルテを見ることが出来るため患者さんの背景や治療に対して患者さんがどう思っているのかを考えながら服薬指導を行うことが出来ました。また、医師だけでなく他の職種の方の記録を通して色々な視点で患者さんをみることができました。服薬指導では先生方の指導の様子も見せていただき複数薬がある場合は色や形も伝えて患者さんに分かりやすく伝えたり、具体例を示しながら症状の程度を聞き取ったりと学ぶことが沢山ありました。自分自身も先生からフィードバックをして頂き反省しながらも次の服薬指導で教えて頂いたことを意識して頑張ることができました。今年はコロナの影響で講義になってしまいましたが、薬剤師がどのようにチーム医療に介入しているのかを学ぶことができました。自分自身が調剤した薬や薬に関しての服薬指導の先には患者さんがいることを忘れずに今後も勉強していきたいと思えます。11週間、至らない点が多く先生方には大変ご迷惑をおかけしましたが、丁寧にご指導して下さいありがとうございます。</p>
R3	西宮病院	<p>病院実習では、カルテから病態や検査値等が確認できるため、なぜこの薬剤を使用しているのか、この用法用量で良いのかなどをしっかりと考えながら調剤することができ、多くの学びにつながりました。薬局実習では学ぶことのできなかつた注射剤、抗がん剤の調製・服薬指導を中心に多くのことを学ぶことができ、自身の課題を明確にすることができました。</p> <p>注射調剤ではTDMが必要な薬剤（抗菌薬）に対して薬剤師の先生方が薬物動態の知識を使い投与設計を行い、医師に情報提供されたり、原因菌からどの薬剤を推奨するのかなどの情報提供もされていました。抗菌薬の投与量や適正使用への介入は薬剤師ならではの分野だと思いました。抗がん剤の服薬指導では患者さんの気持ちに寄り添った指導、言葉の選択が重要となり、服薬指導の難しさを改めて感じました。また、他職種との関わりも見ることができ、チーム医療の重要性を強く感じた実習となりました。</p> <p>大学での学びにとどまらず、その知識を使って、患者さんのために薬剤師としてどのように関わることができるのかを学ぶことができ、とても充実した11週間となりました。</p> <p>病院実習で学んだ知識、考え方、さらに感じたことなどを今後十分に活かして行きたいと思えます。お忙しい中にご指導いただいた薬剤部の先生方、病院スタッフの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。</p>

R3	西宮病院	<p>11週間の病院実習を通して、多くの貴重な体験をさせていただき、たくさんの方を学ぶことができました。病院薬剤師は、調剤や服薬指導以外にも、DI業務、持参薬の鑑別、TDM、チーム医療への参加など、業務内容が幅広いと感じました。服薬指導では、事前にカルテで情報収集を行うことができるので、患者さんの背景にあわせた指導計画を立てることができ、患者さん1人1人に向き合った関わりを持てるのが魅力的だと感じました。私は、抗がん剤治療に関してとても興味があったので、抗がん剤治療を行っている患者さんに指導を行う機会をいただけて、とてもよい経験になりました。</p> <p>薬剤師として大切なことは豊富な知識だけでなく、知識のつながりやわかりやすい説明ができるコミュニケーション力、正確な情報の収集力なども必要であると感じました。薬剤師さんそれぞれに尊敬できる面があり、病院実習を通して自分の目指したい薬剤師像を描くことができました。</p> <p>ご迷惑をおかけすることが多かったですが、お忙しい中親切に指導してくださり、ありがとうございました。</p>
R3	西宮病院	<p>兵庫県立西宮病院は歴史を感じる建物で趣を感じ、優しい先生方に囲まれながら丁寧に指導していただきました。病院全体の空気としても他の職種との連携がしっかりと取れているため、発表の資料作成時に分からないことがあれば医師に質問に行けるなどとても良い環境で勉強に励むことが出来ました。実際の業務では調剤を行うときに声を出すことや処方箋に表示してある記号などによって、医療安全のために工夫を行っていました。また、薬剤管理指導では、カルテを見ることで患者さんの背景を想像しながら服薬指導を行うことが出来ました。</p> <p>自分も先生方の様に良き薬剤師となれるように今後も勉強していきたいと思います。11週間、至らない点が多く先生方には大変ご迷惑をおかけしましたが、丁寧に指導して下さいありがとうございました。</p>
R3	西宮病院	<p>約11週間お忙しい中、指導して下さいありがとうございました。実務実習では、調剤や服薬指導など大学では勉強できないことをたくさん学ぶことができました。特に安全管理においては、ミーティングでの調剤過誤チェックシートの音読、間違えた内容を次に活かすためのイエローカード制度、複数規格や名称類似があるものをチェックするなど様々な工夫をすることでヒヤリハットを防止していることが分かりました。コロナ禍ということもあり、残念ながら医療チームのラウンドやカンファレンスに参加することが出来ませんでした。代わりに講義ではどのような職種とどのように関わっているのか、どのような役割があるのか、その中で何を求められるのか教えて頂きました。また薬剤師の方々が積極的に薬や処方内容について教えて下さり、疑問に思っていることに対して納得がいくまで説明してくださってとても学びの多い11週間になったと思います。</p>



R3	西宮病院	<p>薬局実習とは違い、抗がん剤や輸液の調剤・服薬指導を経験でき、初めての症例・医薬品がたくさんあり、毎日新しいことが学べた11週間でした。</p> <p>兵庫県立西宮病院では朝や昼に調剤過誤防止チェックシートを音読したり、処方箋上で規格や剤形の違いを記号で区別していたりと医療安全のために工夫されていました。また、講義という形で実際に薬剤師がどういうカンファレンスや多職種連携チームに貢献しているのかを教えてくださいました。服薬指導は毎回担当の先生がフィードバックをしてくださったので勉強になりました。そして、病院薬剤師としての業務内容を理解するとともに、憧れが強くなりました。ご迷惑をおかけしたこともあったと思いますが、11週間お忙しい中、ご指導頂きありがとうございました。</p>
R3	西宮病院	<p>私が一番学んだことは正確に調剤することの難しさ、ルールを厳格に守る必要性です。</p> <p>計数調剤や輸液の取り揃え、返品など、単純な作業かつミス防止してくれる体制が整っていても、ミスをしてしまうものと痛感しました。また、機械による調剤でも間違いはあることも分かり、調剤ミス・ヒヤリハットはすぐ隣にあると実感しました。少しでもミスを防ぐために音読照合や決められた手順、その他の細かなルールを守る必要があることも理解できました。</p>
R3	西宮病院	<p>11週間の実習で数多くのことを教えてくださいありがとうございます。薬局では学ぶことの少ない抗がん剤や注射剤について初歩的などころから実践的な部分まで様々なことを学べた。その他にも病院内の様々な業務や薬剤部の病院での立ち位置、どういったことが求められているのかなど講義を通じて薬剤部の在り方やチーム医療について数多く知ることが出来た。また、病棟での服薬指導は薬局のカウンター越しに行うものとは違ったものであることを改めて実感した。患者さんがどういった状態なのか、何を聞くべきなのか、どういった検査値に注目すればよいかなど事前に電子カルテ上で情報収集を行ったうえで服薬指導をしなければならないので総合的な知識が求められていると感じた。病院で学んだ多くの症例や処方を改めて振り返り自分の知識の糧にしていけるように日々勉強していきたい。改めて実習でたくさんの方の事を教えてくださいました薬剤部の先生方にお礼を申し上げます。</p>
R3	西宮病院	<p>11週間お忙しい中、実習生のために時間を割いて丁寧にご指導してくださりありがとうございました。カルテを確認しながら調剤することで、患者さんの命に関わるという責任の重さを実感したと共に、とても勉強となりました。コロナ禍で病棟に行くことなどは制限されていましたが、その中でも抗がん剤のミキシングやTDMなど、病院実習だからこそ学べることを多く経験させていただきました。病院薬剤師の仕事というのはあまりイメージが掴めていませんでしたが、患者さんのためにとっても幅広い業務をされているんだということを実感しました。</p>

R3	加古川医療センター	<p>病院という大きな組織の中で、薬剤部が他職種とどのように連携をしているのかを知ることが出来ました。調剤では、処方箋一枚からこの患者はどんな患者で、この薬の処方意図は何か、といった様々な事を読み取ったり推測したりすることを身につけられ、単なるピッキングではない責任感を持った調剤を意識できるようになったと感じています。また、薬局では見ることでできなかった患者の検査値などを確認したり、抗がん剤を含む注射薬の調剤を行ったことで、検査値の意味、薬剤や輸液の特徴など、知識を深めることができました。病棟へ服薬指導に行った際は、入院中だけでなく、その患者の退院後のことも見据えて服薬のアドバイスや指導を行う大切さを知りました。病院で学ばせていただいたことを活かし、患者に寄り添える責任感ある薬剤師になれるよう努力していきます。</p> <p>2ヶ月半の間、親身に丁寧にご指導して下さった先生方、本当にありがとうございました。</p>
R3	加古川医療センター	<p>コロナ禍で厳しい状況の中、実務実習を受け入れて下さりありがとうございます。</p> <p>日々の調剤では、薬剤師の先生方が薬に関する様々なお話をしてくださったことで、楽しみながら知識を深めることができました。また先生方の働く姿を見て、薬剤師としての心構えや臨床現場の大変さを学びました。服薬指導では薬局実習では接する機会のない、抗がん剤治療をこれから行う患者と接することで、伝えなければならないことが多くある中、何を強調して伝えるべきかを退院後の生活や、検査値をもとに考えることができました。病院はカルテから検査値や副作用状況をすぐに知ることができ、患者さんに対して積極的に介入することができる点がメリットだと感じました。</p> <p>2か月半にわたり丁寧にご指導して下さい、本当にありがとうございました。実務実習での経験を国家試験や将来に活かし、頑張っていこうと思います。</p>
R3	加古川医療センター	<p>11週間の実習を終えて、学校の机上だけでしか学べなかったものが実習を通して学ぶことができ、とても勉強になりました。カンファレンスにも参加することができ、薬剤師が様々な医療チームに関わり、専門知識を共有することで患者の望んでいる治療を提供することに貢献していると知り、病院薬剤師への理解が深まりました。服薬指導では、患者さんの入院から退院の全て関わらせてもらいました。治療について、患者さんへの対応、病院薬剤師の役割などを考え、指導して頂ける実習は、私にとって良い刺激になりました。この実習中に学んだこと、考えたこと、体験したことを今後に活かせるようにこれからも努力していこうと思います。11週間ご指導して頂きありがとうございました。</p>
R3	加古川医療センター	<p>11週間、ありがとうございました。コロナ禍ということもあり、実習3週目くらいまではとても忙しかったのですが、忙しい中でも処方意図を教えてくださいたり、自分で考える中でもヒントをくださったりと、とても親身な先生ばかりで毎日が勉強でした。ICUや緩和ケア、NST、救急のカンファレンスの見学や検査室の見学、ドクターヘリの見学など、ほかの施設では経験できないようなことも経験させていただけました。本当にたくさんのお話を学んだので、その知識を今のものだけにしないように、まずは国家試験に活かせるように、引き続き勉強に励んでいこうと思います。</p>

R3	加古川医療センター	11週間の実習を終えて、意外とすぐ終わったなというのが素直な感想です。それも薬剤師の先生方が丁寧に教えてくださったおかげだと思います。病院での業務内容は毎日異なり、ICUやHCUの現場にも行かせていただき、カンファレンスにも同行し、間近に処置を見ることができて非常に刺激的でした。医師や看護師が薬剤師に相談する場面もあり、チーム医療としての薬剤師の役割は非常に重要なのだと身にしみて感じました。特に今回の実習で新たに興味を持ったのは抗菌薬です。TDMや薬の種類を選択など薬剤師が関わっており、薬剤師としての知識を活かせ、やりがいもあると感じました。11週間大変勉強させて頂きました。ありがとうございました。
R3	加古川医療センター	病院実習では、ロボピックやアンプルピッカーを用いた調剤が新鮮でした。また、自分では理解できなかった処方内容についても薬剤師の先生が分かりやすく教えて頂き大変勉強になりました。それ以外にも他職種と連携し患者さんの治療を支えていく場面を多く目にする事が出来き、病院実習でしか学べない貴重な経験をさせて頂きました。この病院実習で得た学びを大切に、立派な薬剤師になれるように頑張っていきたいです。11週間温かいご指導ありがとうございました。
R3	加古川医療センター	病院実習では、一般・注射・内服に分かれて調剤を行ったり、NSTやICTラウンドで薬剤師と他の医療従事者と一緒に患者さんの栄養状態についてどういった対策を行えばよいのかや感染症の状態などについて話し合っているところを見学しました。また、病棟では、眼科の患者さんに対して服薬指導を行うなど様々な貴重な経験を行うことができ、大学では中々、学べない新しい発見を見つけることができました。今後、今まで積み上げてきた病院での経験を将来、薬剤師になった時に活かすことができるように頑張っていきたいです。11週間ありがとうございました。
R3	加古川医療センター	コロナ禍でお忙しい中、11週間ありがとうございました。実習では実際に、病棟に上がって服薬指導をさせて頂く機会が何度かありました。理解して薬剤を服用いただけるように、わかりやすくお伝えすることの難しさを改めて知ることができました。わからないことがあった場合も、忙しい合間を縫って教えてくださった薬剤師の皆様や事務員さんには本当に感謝しています。この実習で学んだことを将来に活かせることができるように、まずは国家試験に向けて勉学に励もうと思います。
R3	加古川医療センター	2か月半という長い期間でしたが、内容が充実しており、あっという間に過ぎたような気がします。初めは何をすべきか分からない事ばかりでしたが、先生方が優しく教えてくださり、薬剤師の働きについて深く知ることができました。またコロナ禍にもかかわらず、患者さんの服薬指導に行くことができたこと、病院薬剤師として働く先生たちの姿を間近で見ることができたことは大変貴重な経験だったと感じます。毎日お忙しい中、ご丁寧にご指導いただきありがとうございました。

R3	丹波医療センター	<p>11週間の実習を通して、病院薬剤師は薬剤師の専門性を発揮することのできる場面がとても多いことを実感しました。ICTやNSTなどのカンファレンスに参加し、他の職種に対して情報提供および提案を行うことで患者によりよい医療が提供できると思えました。また医師に対する処方提案においても、同種同効薬のなかから比較検討したうえで、根拠を持って提案を行うことが薬剤師としての職能を生かせると感じました。そのためにも日々自己研鑽を続け、知識を蓄え続けることが求められるため、資格を取って終わりという考えでは到底ついていけないと感じ、今後の学習に対する意欲が向上しました。コロナ禍という大変な状況において、実習という貴重な機会をいただきありがとうございました。お忙しい中、ご指導いただきありがとうございました。</p>
R3	丹波医療センター	<p>コロナ禍で厳しい状況の中、実務実習を受け入れて下さりありがとうございました。調剤では、単にピッキングをするのではなく、用法用量や相互作用、腎機能等を確認しながら調剤することが身についたと思います。ASTやNST、カンファレンス等に参加させて頂き、臨床現場でのチーム医療における薬剤師の役割について学ぶことができました。また、栄養課、放射線課、検査部、地域連携室等の他部署の見学をさせて頂いたことで、他職種の視点も知ることができ勉強になりました。病院ではカルテから疾患や症状、検査値などの情報を得られるため、処方薬と照らし合わせることで、病態と薬剤の繋がりや処方意図について理解を深めることができました。服薬指導では説明し足りないことも多く、薬剤師の先生方の指導を聞いて学ぶことがたくさんありました。入院中に気をつけて頂くことだけでなく、退院後のことも見据え、患者の生活と結びつけた指導を行う必要があると感じました。学校で勉強した知識を臨床で活かすには、まだまだ知識や経験が足りないと感じ、臨床現場に出てからも自己研鑽することの大切さを痛感しました。この11週間の実務実習で学んだこと、経験したことを活かし、患者や他職種から信頼される薬剤師になれるよう努力していきます。お忙しい中、丁寧に指導いただき、本当にありがとうございました。</p>
R3	丹波医療センター	<p>11週間の実習を通して、貴重な体験をさせていただき、たくさんのことを学ぶことができました。カルテから患者の病態や検査値などの確認を行えるため、なぜこの薬剤が処方されているのか、また、この用法・用量でいいのかなどを考えながら調剤し、理解を深めることができました。さらに、服薬指導においてもカルテを用いることでそれぞれの患者に合わせた指導を行うことができました。AST、NSTなどのカンファレンスでは、他職種に情報を提供・提案を行うことでより良い医療を患者に提供できることを感じ、同時に薬剤師の役割についても学ぶことができました。薬剤師の先生方にご指導いただき豊富な知識ももちろん大切ですが、その知識をどのように活かし、患者や他職種に分かりやすく説明が行える力や正確な情報収集力なども必要であると感じました。実習での経験や感じたこと、反省点を活かして理想の薬剤師となれるように日々努力を怠らず頑張っていきたいと思えます。お忙しい中、実習という貴重な機会をあたえていただきありがとうございました。</p>

R3	丹波医療センター	調剤業務や病棟業務に加え、AST、NSTへの参加や、栄養課、検査部、放射線科、地域連携室への見学をさせて頂きました。病院実習を通して、病院薬剤師は薬剤師としての専門的な知識を問われる場面が多々あると感じました。病院ではカルテを確認することができるため、医師や看護師の記録、検査値等を確認しながら処方意図を理解した上で調剤や服薬指導を行えるのが薬局との違いだと思います。薬剤師の資格を取得してからが本当の勉強の始まりであるという印象を受けるほど、資格取得に要する知識は基礎的なものにすぎず、臨床現場で必要になる知識はより深く、より柔軟なものが必要になると感じました。患者さんを第一に考えて処方提案や服薬指導をされる薬剤師の先生や、専門的な分野を学ぶために自己研鑽を怠らない薬剤師の先生方にご指導頂き、自分なりに今後なるべき薬剤師像を見つけるヒントをたくさん頂いた実習期間となりました。コロナ禍にも関わらず、座学では決して学ぶことのできない貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。
R3	こども病院	11週間、実務実習をさせて頂きありがとうございました。緊急事態宣言の影響で病院に行くことが難しい時期に、わざわざ時間を作って講義していただいたこと感謝しています。実際に、こども病院に来れるようになった時、怖い人がいたらどうしようと緊張していましたが、こども病院薬剤部の皆様はとても接しやすい優しい方ばかりだったので、とても楽しく実習させて頂きました。病棟では積極的に服薬指導をさせて頂きました。私が失敗しても素早く適切なフォローをしていただけたおかげで、患者さんに不安を与えるようなこと無く服薬指導を行えました。今回この病院で学んだことを忘れず、先輩方のような立派な薬剤師になりたいと思います。
R3	こども病院	コロナ禍で、実習が限られている中で、充実した経験をすることができました。小児専門の病院ということもあり、小児特有の疾患や小児に対する薬剤について沢山学ぶことができました。小児は、成人と異なり、体重や体表面積を考慮する必要があるため、その分注意して調剤などを行わなければならないことを知りました。実習当初は、小児に対しての知識がなく不安でしたが、先生方から一つ一つのことを分かりやすく教えていただいたので、小児の医療に対して興味を持つことができました。実習で学んだことを活かして、患者さんから信頼される薬剤師になりたいと思います。11週間本当にありがとうございました。
R3	こども病院	薬局ではカルテがなかったため、患者背景を知るためには直接患者さんと話すしかありませんでした。しかし、病院では薬局よりも多く情報を得られるため、患者さんの病態や現在の状態が理解しやすかったです。またASTに参加させていただいたことにより、感染症について興味が湧きました。ASTでは、治療薬の妥当性や治療期間を評価するために、患者背景、原因、感染源などを考慮しなければいけないと理解しました。今回の実習で得た知識を将来に役立てていきたいです。11週間様々なことを教えていただき、誠にありがとうございました。

R3	こども病院	<p>約11週間、オンライン実習を含めお忙しい中、時間を割いて丁寧にご指導して頂きありがとうございました。小児を専門としている病院で、体重や体表面積を用いた投与量の計算方法や服薬指導での小児への接し方等、貴重な体験ができてとても勉強になりました。また、水剤・軟膏・注射薬調剤にもふれ、幅広い薬剤の知識を身につけることができました。</p> <p>こども病院の薬剤師の皆さんのように、患者に信頼してもらえる人を目指しこれからも勉強を頑張りたいと思います。ありがとうございました。</p>
R4	こども病院	<p>兵庫県立こども病院での実習を通して、病棟業務や調剤など病院薬剤師の業務を経験しました。病棟業務では抗がん剤の服薬指導を経験させていただきました。抗がん剤は注意すべき副作用が多く、それをどのように患者に伝えるかなどを実際に経験し学ぶことができました。また、一方的に説明するのではなく、患者に寄り添って悩みなどを聞くことの大切さも学ぶことができました。がん以外にも様々な疾患に関わることができてとても勉強になったのと同時に、自分の知識不足を痛感する機会にもなりました。11週間という短い期間でしたが、薬剤師の先生方にはたくさんのお話を教えていただきました。今後はこの実習で学んだことを、国家試験や就職などに活かすことができるよう努力しようと思います。ありがとうございました。</p>
R5	こども病院	<p>この病院実習では、調剤業務や服薬指導への同行を通して、多岐にわたり実践的に学ぶことが出来ました。また、薬剤師の先生方から様々な講義をして頂き、調剤過誤防止への取り組みや、TDM、病院薬剤師の役割についての理解がより深まりました。薬剤師の役割や、業務内容を薬局実務実習とはまた違う視点で学ぶことが出来たと感じています。日々実習する中で、気になったことや分からないことがあると、薬剤師の先生方が丁寧に教えて下さり、多くの学びがある実習となりました。この経験を活かして、今後薬剤師となって活躍していきたいです。11週間本当にありがとうございました。</p>
R6	こども病院	<p>兵庫県立こども病院での実習では、小児に関する多くの知識を学びいくつもの服薬指導に関わることができました。まだ小さいお子さんが多く、両親に対しての説明は工夫すべきことが多くとても難しかったです。自分が実際に患者さんの前に立ち、必死に行った服薬指導は一生忘れられないものとなりました。11週間の実習は多くの不安と緊張の中で始まり、色々な失敗や反省を経験しましたが、その度に薬剤部の先生方が声をかけてくださり、アドバイスや再チャレンジの機会をいただいたことでより向上できたと感じています。また、自分で興味を持ち調べる習慣がついたことはこれからの自分にとって大きな糧になりました。業務だけでなく、国試や就職についても話して下さりとても参考になりました。11週間ずっと優しくあたたかくご指導いただきありがとうございました。</p>

R7	こども病院	<p>病院実習で学んだこととしては、大きく分けてふたつあります。ひとつめは、小児への薬剤の投与は成人に比べると厳しく計算され投与が行われているということを学びました。さらに、その計算では体重での計算だけでなく場合によっては水分の出納など患児の状態も考慮した投与設計がされていることを初めて知ることができました。ふたつめは、患児本人に話すより患児の親に話を聞いたり、服薬指導をすることが多いことです。患児は年齢的にも自らの症状などを自分で話したりすることができないことが多いので、カルテや患児の親との話の中で状態を確認する重要性が成人への服薬指導より高いと感じました。この他にも、実習ではこども病院でしか学ばないことを多く学ぶことができました。11週という短い間でしたがお忙しい中、優しく指導してくださり本当にありがとうございました。病院実習での経験を今後活かして、頑張りたいと思います。</p>
R3	がんセンター	<p>この病院実習ではコロナ禍で色んな制限がある中チーム医療・病棟業務・ミキシングなど病院薬剤師ならではの仕事に参加させていただきました。先生方はお忙しい中でも私たちの質問にその都度丁寧に答えてくださり、とてもたくさんのお話を学ぶことができました。がんセンターでの実習ということで、がんしか学べないのかと思っていましたが、がんだけではなくがん治療をする上で色んな背景を考えながら患者さんの治療にあたっているため、感染症や栄養などがん以外のことも多く学ぶことができました。がんセンターでの実習はとても充実しており、自分の成長にもつながったと思います。11週間ご指導いただきありがとうございました。先生方のような薬剤師になるために努力していきたいです。</p>
R3	がんセンター	<p>実習に来る前は病院薬剤師の行っていることを知らず、病院実習が楽しみである反面不安もたくさんありました。しかし、実習が始まるとどんな些細なことでも丁寧に優しく教えてくださり不安は全てとんでいきました。たくさんのお話を聞かせてくださり病院薬剤師の仕事についてさらに詳しくなることが出来ました。またこのような情勢の中でもカンファレンスにたくさん参加させて頂いたり病棟業務を見学させて頂き、患者さんとの関わり方だけでなく他職種との関わりについても学ぶことができました。兵庫県立がんセンターで実習が出来て良かったです。お忙しい中貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。立派な薬剤師になれるように今後も日々精進していきたいです。</p>
R3	がんセンター	<p>病院での実習に参加させて頂き有難うございました。病院では色々な疾患について勉強を行わせて頂き、薬の使い方も様々な使い方があることを学ばせて頂きました。ICT、AST、NST、PCT等のチーム医療にも参加させて頂き、薬以外にも学ぶべきことがあることを実感することが出来ました。コロナ禍の中、化学療法を行っている患者さんや手術前後の患者さんへの服薬指導を見学させていただいて、患者さんの悩みや不安を聞いている姿を見て病院薬剤師の役割や仕事のやりがいや楽しさを感じる事が出来ました。11週間と短い間でしたが、大変お世話になりました。今回の貴重な経験を今後に活かしていきます。本当に有難うございました。</p>

R3	がんセンター	制限された中での実習でしたが、たくさんの講義や調剤、見学を行う中で病院薬剤師の魅力を感じることができました。薬局では学ぶことができない病態や薬についてカルテを見る中でより深く学ぶことができました。特に抗がん剤については実習前は苦手意識があり、薬理作用や適応について分からない事が多くありましたが、調剤や病棟業務を行う中で知識を深めることができました。AST、NST、ICT、PCTのカンファレンスやラウンドの見学を行う中で薬剤師がどのように介入し、多職種と連携しているか学ぶことができました。実習で学んだことを思い返しながらかれからも勉強を続けていきたいと思ひます。11週間と短い間でしたがお忙しい中ご指導いただきありがとうございます。
R3	がんセンター	コロナ禍であるにも関わらず、実習生を受け入れて下さりありがとうございます。病院実習では調剤や病棟での服薬指導、抗がん剤の調製、チーム医療のカンファレンスの見学などをさせていただきました。薬についての知識を身につけるだけでなく、薬剤師が他職種との関わりの中でどのような役割を担っているのか、患者さんとどのように接しているのかを知ることができました。また、たくさんの講義を通して病院薬剤師の業務内容について学ぶことができました。実習で得た知識と経験を今後の勉強に活かしていきたいと思ひます。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございます。
R3	がんセンター	コロナ禍で様々な制限がある中で、実習生を受け入れて下さりありがとうございます。調剤やたくさんの講義、ミキシング見学、病棟業務など、豊富な実習内容を用意して頂き、薬剤師に必要な知識をより深めることができ、とても充実した11週間を過ごすことができました。AST/ICT、NST、PCTのカンファレンスやラウンドを見学させて頂き、薬剤師がチーム医療の一員として重要な役割を担い、他職種と連携を取りながら患者さんに医療を提供することの大切さを学ぶことができました。実習で得た知識と経験を活かし、先生方のような素晴らしい薬剤師になれるよう、これからも勉強に励んでいきたいと思ひます。お忙しい中ご指導いただき本当にありがとうございます。
R3	がんセンター	このような状況ですが、実習を引き受けてくださりありがとうございます。制限されたなかでも学びの場をつくってくださり感謝しております。病院では薬局実習とは異なり注射剤の調剤があるため輸液について学ぶことができました。また、カルテから情報を得ることで患者さんの状態を知る手がかりとなるため、調剤するごとに学ぶことがたくさんありました。その他、AST/ICT、NSTやPCTのカンファレンスに参加させていただき、チーム医療での薬剤師の役割や情報共有の大切さについても学ぶことができました。今回の実習での経験を今後活かしていけるように、これからも勉強に励んでいきたいと思ひます。約2ヶ月半、大変お世話になりました。ありがとうございます。



R3	がんセンター	<p>コロナという厳しい条件にも関わらず、調剤、入院や外来ミキシング見学だけでなく、ICT/AST, NST, PCTカンファレンスの同行、詳細なフィードバック、病棟業務同行と本当に多くの時間を割いていただきました。特に病棟業務では臨床現場の空気を感じることができ、自分ならどう動くのかという視点を養えたことは非常に有意義なものとなりました。また、実習を通して抗がん剤の種類や前投与薬剤の意図など、薬剤に対する知識の幅も広がりましたし、些細な質問にも先生方は優しく詳細に答えて下さいました。今回の実習で理論と臨床を交えて学ぶことができた経験は、今後薬剤師として働くうえで大切な指針となると思います。2ヶ月半、実習生を受け入れて下さってありがとうございました。</p>
R3	姫路循環器病センター	<p>病院での実習は調剤、注射、服薬指導などが主な内容だと思いましたが、実習が始まると調剤業務以外にもカンファレンスへの参加や院内施設の見学などもあり、大変有意義な時間となりました。調剤では自分が疑問に思わないところでも薬剤師の先生方はカルテを確認し、確認する理由を教えていただいたので多くの知識や処方意図を学びました。服薬指導は初めは薬や病気に関して知識不足があり、カルテでの情報収集にも苦労しましたが、何度も経験する事で患者さんについて素早く理解し、患者さんにもしっかりと説明できるようになりました。今回の実習では失敗したことや間違えてしまったことも多くありましたが、それ以上に学んだことや達成できたことも多くありました。この経験をこれからの学習に役立てていきたいと思ひます。11週間という短い間でしたがありがとうございました。</p>
R3	姫路循環器病センター	<p>この病院実習では計数調剤、注射調剤、服薬指導、チーム医療、他職種の仕事について学びました。最初のうちは調剤で薬を集めることに精一杯でしたが、回数を重ねるごとに薬の相互作用や検査値も併せて確認できるようになりました。注射調剤では、輸液の組成や配合変化など多くのことを学びました。服薬指導では聞き取る内容を自分で調べ、不足している部分を指導薬剤師の先生に教えていただきとても勉強になりました。チーム医療では薬剤師の役割や必要とされる知識について触れることができ良い経験になりました。他職種の仕事について学ぶ機会もあり、はじめて知ること多かったです。この11週間で貴重な経験をさせていただきありがとうございました。</p>
R3	姫路循環器病センター	<p>多職種が集う病院で、どのように薬剤師が職能を発揮しているのかを間近に見て知ることができました。チーム医療の一員としてカンファレンスに参加し薬学的知見から情報提供及び処方提案を行ったり、調剤の際、カルテから処方意図を把握し、処方変更の際は根拠のある代替案を用意し医師に提案することで患者個々に合う医療を提供するところに薬剤師の専門性が活かされていると感じました。ご指導いただきいく中で、疑問を感じたら調べて納得してから調剤することや、患者さんとの円滑なコミュニケーションの取り方など将来薬剤師として働く上で重要なことを身につけることが出来、とても実りのある11週間になりました。先生方には毎日お忙しい中、丁寧にご指導いただき感謝しております。この経験を糧に、立派な薬剤師になれるよう努力したいと思います。</p>

R3	姫路循環器病センター	電子カルテを用いることで患者の状態を把握し、安全を考慮しながら調剤を行うことが出来ました。救急病棟では点滴のルート内で配合変化が起こっていないか確認する事や、患者の家族から持参薬の聞き取りを行い医師に必要な情報を伝えるなど、現場における薬剤師の具体的な業務についても学習できました。また、自分の知識不足や認識不足によるミスが多く、現場の薬剤師の方々の方になるには今のままではいけないことも実感できました。残りの学生生活において薬剤師として必要な知識を身に付け、人間としても成長して参ります。お忙しい中、ご丁寧なご指導をいただきましてありがとうございました。
R3	姫路循環器病センター	薬局実習とは違い、病院実習では注射調剤、他部署の見学、チーム医療（NSTや心リハ等）の見学など様々な経験をさせていただきました。チーム医療では、医師・看護師だけでなく、リハビリ・栄養士の方とも情報共有し、患者さんについて考えていました。チームでの話を理解するために薬のことだけではなく、他の分野も理解できるように様々な知識をつけなければならぬと感じました。また、電子カルテを用いて、腎機能の確認、注射調剤では投与速度、用法用量の確認（疾患によって異なる場合がある）などのポイントを教えていただきました。病棟での服薬指導も経験できました。初めは緊張してしまいましたが、薬剤師さんのアドバイスにより少しずつ慣れていきました。11週間、丁寧に教えてくださりありがとうございました。
R3	ひょうごこころの医療センター	1週間の実習でしたが、精神科医療について学べて、とてもいい経験になりました。様々な抗精神病薬の機序や作用を改めて復習する機会にもなりました。服薬指導などをおして患者さんと関わり、薬の説明をするのに表現を工夫しないといけないと思いました。お忙しい中、親切にご指導いただきありがとうございました。今回の経験を今後活かしていけたらと思います。
R3	ひょうごこころの医療センター	1週間という短い期間でしたが、内容はとても充実しており、いい経験になりました。この1週間という短い間で毎日、違う病棟を見学させていただきました。ここでは、普段なら関わるような精神科の薬や疾患を持っている患者さんとも関わる事ができました。お忙しい中、時間を割いて指導して下さいありがとうございました。
R3	ひょうごこころの医療センター	精神疾患の患者と関わることで、同じ疾患でも患者ごとに病的体験の訴えなどが様々であり、患者ごとの対応がより重要になると感じました。治療薬についても、実際の臨床現場での使い分けや特徴について学ぶことができました。ありがとうございました。
R3	ひょうごこころの医療センター	様々な病棟の患者さんに関わらせていただき、精神疾患についてのイメージが変わりました。患者さんへの接し方についても学ぶことが多くありました。1週間という短い期間でしたが、貴重な経験ばかりで、とても充実した実習となりました。ありがとうございました。